

「もったいない精神」を活かし、環境問題へ取り組みを！

洞爺湖サミット開催にあわせて、公明党青年局が提唱した「クールアースデー」。この取り組みを市でも取り入れてほしいと要望。市は「毎週水曜日のノーカーデー、ノー残業デーなど、従来の取り組みにあわせて検討する」との答弁。この啓発ポスターが市役所、公民館などに7月中掲示されている。



ホームページができました！
みなさん、見に来てください。
ブログ毎日更新してます！

<http://www.sunsun-kumiko.jp/>

ごあいさつ

新しい議場での「第2回定例会」は、勝手が違うことから、緊張の一般質問となりました。多くの方々、傍聴のため、わざわざ市役所まで足を運び、応援してくださったことに、大変に感謝しております。

議員として一年が経ち、自らが取り組むべき課題もみえてまいりました。そして今年の夏も、市民相談やご挨拶まわりに取り組んでまいります。まちで見かけたら、是非お声かけください。皆さまの笑顔が、わたしの原動力となります。

暑い季節に向かいますが、十分な体調管理で元気に過ごしたいものです。わたしも暑さに負けずに頑張ります！

一般質問

ケニアのワンガリ・マータイ博士の

【もったいない精神】を活かす提案を行う。

エコキャップ運動の推進

「ペットボトルのキャップを集めて 世界の子どもたちにワクチンを届けよう！」という運動。ペットボトルのキャップ 800 個がポリオワクチン1人分(20 円)に相当することから、資源ゴミから人道支援へ有効活用がひろがること、環境教育の観点からも是非取り入れるべきと提案。

レジ袋削減について

ゴミ削減の観点から、レジ袋辞退、マイバッグ推進が必要な施策であると指摘。リサイクル協力店で「一声かける！」ように推進を。

安全・安心のまちづくりについて

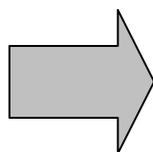
宮城県での防災教育の取り組みを紹介し、子どもたちから防災意識の向上・啓発を要望。昨年からの課題となっている、災害時の職員の体制や意識が不十分な現状を指摘し、市民の安全・安心のために更なる努力が不可欠と強調。

防災まちづくり推進地区について、協定を締結後3年以降もかわるべきであると主張。災害協定をHPで一覧にして、市民に公表していくべきだと要望。

スクールゾーンから水たまりが消えました

実績 1

日吉町1丁目の通称「地蔵通り」は、雨がふるたびに大きな水たまりができていました。地域にお住まいの方からご連絡をいただき、雨の日に現地に向かうと、子どもたちの歩く白線の内側が、全面、水たまりになっていました。早速、市に申し入れ、雨水ます4基を設置、道路も舗装しなおし、スクールゾーンのカラー舗装も実現！ 更に内藤橋街道を渡った反対側にも、雨水ます1基を設置。これで、学校の行き帰りとも安心して歩ける道になりました。



実績 2

雨天時の濁流が緩和されました

西恋ヶ窪1丁目、姿見の池緑地保全地域西側の道は傾斜地のため、雨天時、JR西国分寺駅方面から大量の土砂と水が流出。あたり一面、川のような状態になり、困り果てた近隣住民の方から市民相談を受けました。現地へ行くと、流出した土砂が、U字溝を埋めていました。すぐに市に掛け合い、市道の部分を舗装してもらいました。この結果、土砂流出がなくなり、濁流は激減。雨水はちゃんとU字溝に流れるようになりました。

